

霧島

広報きりしま



Kirishima City Public Relations, Japan
2013.9.10発行 VOL.172

霧島 広報きりしま



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メールアドレス/E-mail info@city.kirishima.jp
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南国分新報社印刷

特集 Special Feature

Life

【ライフ】
認知症を
考える

～最期まで自分らしく～

天国葬祭の

心に残るお葬式。

広告

選べるプラン それぞれの葬儀スタイルでお選びください。

13万円 26万円 58万円

近親者だけで、宗教儀礼を行わず、
ご出棺のみ行うご葬儀も
お手伝いさせていただきます。

家族葬・絆プラン 家族だけの葬儀をご希望の方におすすめ。

絆プランの内容

- | | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

一般通常価格

58.5万円

if 共済会員価格

46万円

追加料金は
一切ありません。

すべて含んで、この価格です。ただし、絆プランご利用には「if 共済会員であること」という条件があります。

if 共済会員募集中!

1万円の入会金で生涯会員。
月会費などは一切ありません。

if 共済とは…
遺された方々の負担を少しでも軽くしていただけるために生まれた相互扶助のシステムです。全国の葬祭専門業者約1,500社が参加しています。
◆ご葬儀施行時、特別割引料金でご奉仕致します。
◆絆プランを利用するには生前入会が原則です。

(2014年末日まで有効)



セレモニー国分 天国会館
霧島市国分福島3-1-20
TEL0995-46-0444 FAX46-4444



始良みそらホール
始良市西餅田3288 (始良駅近く)
TEL0995-65-0444 FAX65-4429



加治木天国会館
始良市加治木町木田2342
TEL0995-62-0444 FAX62-0042

通産大臣認可 全日本葬祭業協同組合連合会加盟店 厚生労働大臣認定 葬祭ディレクター 10名在籍

●天国葬祭の特約店《割引特典あり》……………

- ・京セラ ・ソニーセミコンダクタ ・イオン ・自衛隊 隊友会 ・鹿児島県 年金受給者協会
- ・鹿児島県 職員生活協同組合 ・九電九友会 鹿児島県支部 ・鹿児島県 警友会 他企業団体300社以上

事前相談・
見積り無料

0120-1059-32

天国葬祭
www.tengokusousai.com

あなたは「認知症」にならないという自信がありますか。

誰もがなり得る脳の病気「認知症」。

厚生労働省が今年発表した認知症の人の推定数は全国で462万人。軽度者を加えると65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍です。

今後高齢化が進むにつれ、この数は増えることが予想されます。

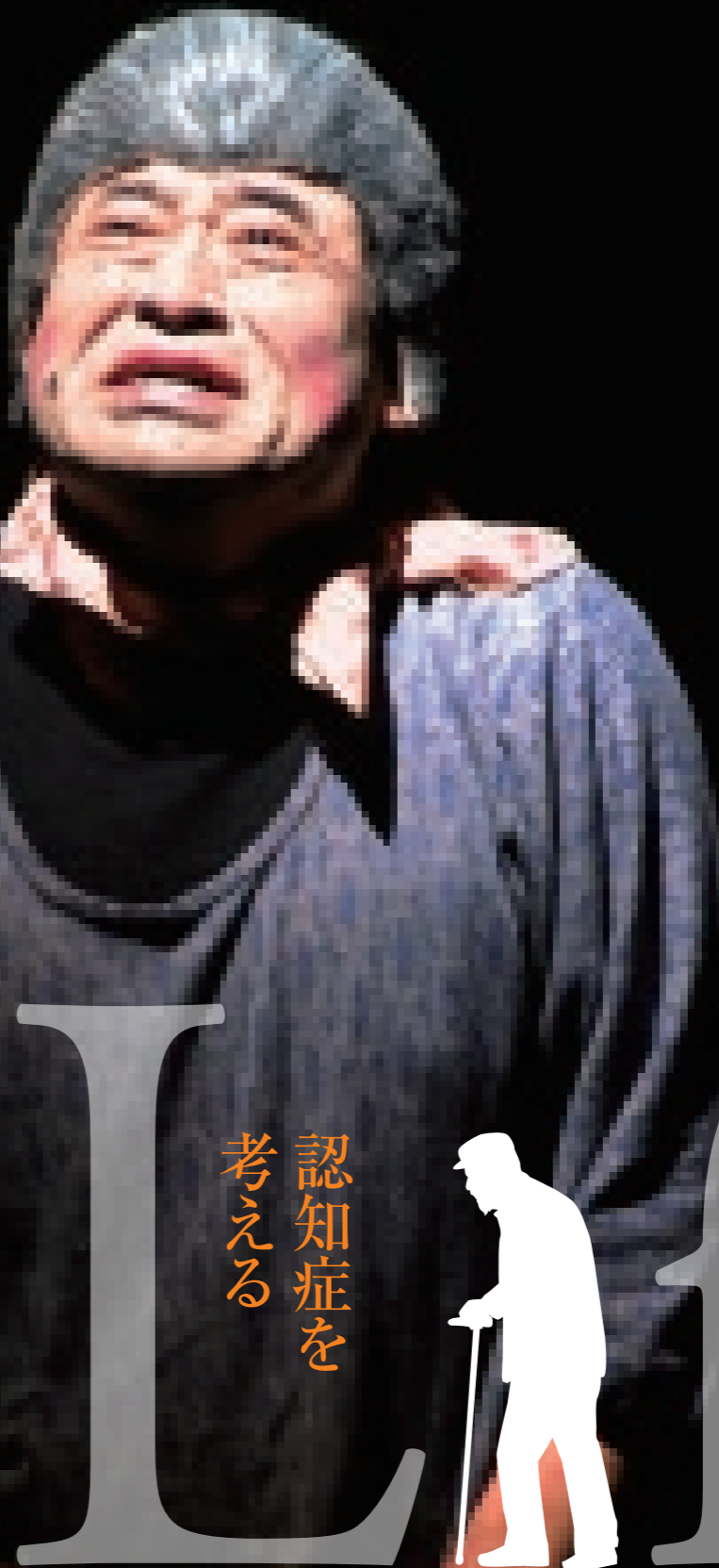
国では、認知症の人の「ライフ（生命、生活、人生）」を支える

5か年計画「オレンジプラン」をスタート。

「認知症になっても住み慣れた地域で暮らしたい」

それは誰もが思うこと。

今回は、その実現のために私たちにできることを考えます。



【ライフ】 Life

認知症を
考える

～最期まで自分らしく～

「あたかも好きでボケたとしゃなか。一番困っちゃうとはあたいたいじゃ。これからどげんかっていつたるかい…」

霧島トメさんが認知症になった不安を訴えるシーン。会場は涙に包まれます。

主人公で認知症の「霧島トメさん」と家族の日常を描き、認知症や介護について紹介する劇団「たけちゃん一座」トメさんにふんするのは座長で横川町の福祉施設「みどりの風」に勤める竹下智行さん（45）。団員約15人のほとんどが市内の福祉施設で働く職員で、台本や衣装も自分たちの手作りです。

劇団ができたのは23年前。福祉施設で働く竹下さんたちは、認知症の方が偏見の目で見られていると感じ、「認知症を正しく理解してもらいたい」と劇で認知症への理解を訴える活動を始めました。

最初のころは、認知症の人を支える家族のつらさを紹介していましたが、認知症の人と接する中で本当につらいのは本人なんだと気づき、記憶をなくしていく不安など認知症の人の「思い」にスポットを当てようになりました。

伝えたい思い

劇は1時間程度、そのうち約8割は笑い。鹿兒島弁を使い、トメさんが巻き起こすトラブルを喜劇仕立てで表現しています。しかしそこには、竹下さんの葛藤がありました。

「誰もが気軽に認知症のこを受け入れてもらうためには、笑いを交えながら紹介することが必要だと考えました。でも、認知症の人の行動を笑いにすることで不快に思われたり誤解されたりしないか不安もありました」

笑いの多い劇ですが、クライマックスに涙を誘う場面があります。冒頭で紹介したトメさんの思い。涙を浮かべ、トメさんの必死の訴えを聞く観客。会場の雰囲気が一気に変わります。

「トメさんが不安を訴えるシーンで、今まで笑っていた観客の表情が一変し、それを見て私の中のトメさんの思いがさらに込み上げてきます。あるとき私は演じているのではなく、不安でいっぱい霧島トメさんそのものなんです」公演が終わったあと、観客の方から「認知症の方も苦しいんだね」と声を

かけられました。それを聞いて竹下さんは「思いが通じた」と一言。

福祉関係のイベントや地域の勉強会など、毎年年間15公演以上行い、最近では県外からも声が掛かる人気の「たけちゃん一座」。団員は仕事の合間や休日などを使い練習に励みます。

「認知症になった本人が一番不安に感じている。その思いを理解してもらいたくても、認知症の人の中にはうまく表現できない人が多い。私たちは、その代弁者になりたいんです」と話す竹下さんの表情からは、強い決意が伝わってきました。

認知症を地域に理解してもらうために、たけちゃん一座はこれからも演じ続けます。

※オレンジプラン
(認知症施策推進5か年計画)
認知症になっても、住み慣れた場所で生活を送る仕組み作りが目的。主な内容は状態に応じたサービスを提供するための認知症ケアパスの作成・普及、早期治療・対応をするための支援チームや医療センターの設置、地域での生活を支える介護サービスの構築、認知症サポーターなどを増やして地域での生活・家族の支援強化、医療・介護サービスを担う人材の育成のための「認知症ライフサポートモデル」の策定など。



たけちゃん一座
座長 竹下智行さん

専門家が教える 認知症とは

まずは、認知症がどんな病気か、どのように接すればいいのかわかることが大切です。

認知症について隼人町にある松下病院の医師、野田隆峰さんに話を聞きました。

認知症を理解する

認知症は、脳梗塞や神経細胞のアルツハイマー変性など、さまざまな原因で脳の知的働きが低下した状態のことをいいます。高齢になるほど発症率が高くなり、最近では若くして発症する人や、記憶障害だけが強く、自覚がある軽度の認知症の人も増えています。

認知症になると、記憶障害や時間・場所・人物が分からなくなる見当識障害、できていたことができなくなる実行機能障害、言葉が言えなくなる失語、それが何か分からなくなる失認、目的の行動ができなくなる失行などの中核症状が現れ、周囲の関わり方次第で徘徊、暴力、妄想、幻覚、不安、無気力などの周辺症状が出現します。

今のところほとんどの症状を完全に治すことはできません。

早期発見と予防

認知症は、早期発見・早期治療で進行を遅らせることができます。しかし、認知症と判断しづらいケースもあります。それが老化による記憶障害。症状の大きな違いは、老化は行動の内容の一部、認知症は行動そのものを忘れてしまいます。例えば買い物に行つて買ってきた物の一部を忘れてしまうのは老化、買い物に行つてきたことを思い出せないのが認知症です。

日常生活面で多い症状は、同じことを何度も聞いたり言ったりする、大事な約束を忘れたりするなどです。日ごろの行動に変化を感じたら、早めに専門の病院などに相談してください。予防法としては、生活習慣病対策や固い物などを食べて噛むことを心掛ける、笑顔のある暮らしをする、ウォーキングなどの有酸素運動をする、家庭でも社会でも小さなことでもいいから役

割を持つ、生活リズムを作るなどに気を付けることが大事で、これは症状を緩和することにも効果があります。これまで多くの患者を見てきて気付くのは、地域との関わりがあまりなく、家に閉じこもった高齢者が認知症にな

るケースが高く、進行も早いです。認知症で大切なのは地域の方々の理解と連携。当事者や家族だけではなく、医療や福祉、行政、地域が一緒になって見守ることが認知症の抑制、緩和、予防につながると思います。



医療法人仁心会 松下病院 (認知症疾患医療センター)
医師 野田隆峰さん (鹿児島国際大学福祉社会学部教授)

早期発見のポイント ～日常生活面の障害～

※1つでもあったら、病院や包括支援センターなどの専門機関に相談してみましょう。

- 同じことを何度も聞いたり、言ったりする。
- 大事な約束を忘れる。
- よく鍋を焦がすようになる。
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ。
- 同じ献立の料理が続く・同じ服を毎日着る・同じ物を何度も買う。
- 物の名前が出てこなくなる。
- 今日の日付が分からなくなる。
- いつも大きなお札で買い物をする。
- 手順どおりの作業や同時に2つのことができなくなる。
- 他人との交流が極端に減少する。
- 日課だったことや興味がなくなったことをしなくなる。
- 物取られ妄想的な言動がみられる。
- 些細なことでも怒りっぽくなったり、夜中に急に騒ぎ出したりする。

思いを形に、 地域につながりを



認知症地域支援推進員
福田電光さん (31)

私のアルバム

霧島市在住の65歳以上の方が対象です。作成希望の方は、問い合わせください。それ以外の方でも、伝えたい思いを何かに残しておくことで、自分らしい生活を継続できます。

☎=霧島市地域包括支援センター ☎(48)7979

自分らしい生活を送るためにも、多くの方に私のアルバムに登録してほしいです」と訴えます。

地域のひろば

高齢者の中に孤独な生活を送る方が増えています。そこで市では、高齢者が集える場「地域のひろば」を今年からスタートしました。

隼人塚団地にあるデイサービス「ひだまり」もその一つ。この団地は約35年前にできた新興住宅。地域外出身の方がほとんどで、高齢化が進むにつれ、近所同士の関わりも少なくなっている。そんな中、昨年認知症だった方が行

方不明になりました。懸命の捜索が続けていますが一年以上たった今でも発見されていません。

同地区の民生委員で長寿会女性委員の川崎厚子さんは「あの出来事をきっかけに、みんなのつながりへの意識が高まったように思います。地域のひろばができて、高齢者の憩いの場になっています。先日は、地域のひろばの帰りに、道が分からなくなった認知症の方を発見し、みんなで送り届けることができました。今までだったら、そういう人がいても気付かなかったと思います。地域内のつながりが少しずつ生まれてきた証しなのかもしれませんね」と期待を寄せていました。

いつまでも自分らしい生活を送るために行われている取り組みが注目されています。

全国初の取り組み

認知症になっても自分の思いを尊重して接してもらうために、元気なうちに自分の人生や思いを収める「私のアルバム」。2年前に霧島市が全国で初めて導入しました。

アルバムにつづるのは、愛用品や趣味、好きな色、思い出の場所など、その人の記憶そのもの。65歳以上の方が対象で、作成は無料。現在600人以上が作成しています。アルバムは霧島

市地域包括支援センターで保管し、もし認知症になった時は介護する方に渡されます。本人が希望すれば、地域や民生委員の方とも共有することができ、地域で見守るときに役立ちます。

認知症地域支援推進員の福田電光さんは「思いを伝えたいときは、言葉にして伝えればいい。でも認知症の方はその思いをうまく伝えられません。周りが良かれと思ってしたこと、実は本人が求めていることではないかもしれません。その人らしい生活を送ってもらうためには、その人の思いを知ることが大切です。そのために私のアルバムがあります。認知症になったとき、

「ひだまり」で交流を深める地域の皆さん



地域のひろば

地域の高齢者が集える場所を提供するために、協力いただける介護施設など、現在23か所に委託。各施設で、絵手紙や料理など、交流を深めるための取り組みを行っています。

☎=長寿・障害福祉課 ☎(64)0995



長寿会女性委員
川崎厚子さん (68)



～最期まで自分らしく～

「あんなに元気だったのに、まさか認知症になるとは」。そう話すのは宮内昭稱さん(59)。国分松木の実家で父・盛さん(98)の介護をしています。

症状が現れだしたのは10年前。最愛の妻に先立たれ、元気がなかった盛さんは、物忘れが増えていきます。最初は年のせいかと思っていた昭稱さんですが、すぐに違うと気付きます。夜中に冷蔵庫の中の生肉や保冷剤を食べようとしたり、ひざが悪いのに外に出ようとして玄関や廊下で転んで動けなくなっていたり。それが介護生活の始まりでした。

「入れ歯の掃除や排泄物の処理など、最初は自分の父親でも抵抗があつて顔を背けながらしていました。目を離すことができなくて心休まる時がありませんでした。中でもつらかったのが『あんたは誰?』と私のことを忘れたとき。もう無理だと感じました」

そんな昭稱さんを支えてくれたのは地域の力でした。民生委員の方が心配して来てくれて、介護サービスのことをいろいろ教えてくれました。地域の方も声を掛けてくれました。

「最初のころは、介護に必死で社会との関わりが持てず、孤独感を感じていました。出口のないトンネルのように本当につらかった。そんなとき、介

護サービスのことを教えてもらい、少し自分の時間を持てるようになりました。地域の方の何気ない声掛けも、つながりを感じられて、本当にうれしかったです」

介護のために早期退職した昭稱さん。今は農業をしていた盛さんの畑を継いでたくさんの野菜を育てています。今の一番の楽しみは父との昔話。取れた時の野菜を持っていくと農業をしていた時の話や昭稱さんの子どもころの話をしてくれます。

昭稱さんは「父の話の聞くと、家族のために一生懸命働いてくれていたことが分かります。今は思いが通じ合わないことも多いですが、この時だけは、つながりを強く感じるんです。これからは皆さんに支えてもらって、父と一緒にこの地域で暮らしていきたいです」とほほ笑みます。

つながりのある社会

認知症の人と家族の会鹿児島県支部「やすら木会」代表の水流涼子さんに、認知症介護の現状について聞きました。「介護の悩みを一人で抱えている方が多くいます。自分だけが頑張れば良いと思う人には無理が出てきます。認知症の介護は柔軟な考えが大切。相談できる人を作ることが必要です。そのために私たちは活動しています」



認知症の人と家族を支える

認知症の人の場合、「住み慣れた地域で暮らしたい」と思っても、支えてくれる家族などの存在が必要です。しかし現実には、介護について悩んでいる家族が大勢います。介護しやすい環境を作るためには、どうすればいいのでしょうか。

自らも20年間、姑の介護をした経験のある水流さん。夫が亡くなったため、生活のために働きながらの介護でした。認知症のことを知ろうと講演会に参加、「やすら木会」の発足と同時に入会し、活動にも参加するようになり、多くの相談を受けてきました。水流さんが最初にアドバイスするのは笑顔の介護。そこには自らの経験がありました。

「最初の一年は、いつもイライラしていました。当時つけていた介護日記には姑の悪口ばかり。そんなとき大学生の息子に『顔が険しい』と言われ、鏡に写る自分の顔にびつくりしました。これではいけないと思ひ笑顔を手掛けるようにしました。笑顔なんて無理と言う方もいますが、作り笑いでもいいと思うんです。そうすると自分の気持ちに少しゆとりが持て、相手の思いを尊重する心の余裕がでてきます」

さらに水流さんは、笑顔のために地域が必要と話します。「介護している方の中には、周りの目が気になり、認知症を打ち明けられない人がいます。そんな人の中には、イライラを解消できずに高齢者虐待に走るケースも。その人たちも好きで虐待しているわけではないんです。精神的に追い詰められているんです。社会全体が認知症を正しく理解し、家族の



やすら木会代表 水流涼子さん

孤独感を和らげることが必要です。悩みを解決しようと思わなくていいんです。思いに共感し、存在に気付くだけで救われる人が大勢います」

水流さんは「いきなり声を掛けても言っても難しい。日ごろからの地域との関係性が大切」と訴えます。

認知症のことを打ち明けることができ、それを共感できる環境。認知症の人とその家族を支えるためには、つながりの持てる社会づくりが必要です。

公益社団法人 認知症の人と家族の会
鹿児島県支部「やすら木会」 ☎099(257)3887



まちかど介護相談所

認知症の人と、その家族を支えるための地域の介護相談所。



市では、介護の支援だけでなく、介護しやすい地域づくりに取り組む「ライフサポートワーカー」を任命しています。半年間の研修を受けた福祉事業所の介護スタッフ31人が活動中です。ライフサポートワーカーがいる事業所は、介護

相談や地域の集まり場づくりなどをする「まちかど介護相談所」にもなっています。1人で悩まないで、お気軽に相談してください。

☎=長寿・障害福祉課 ☎(64)0995



この看板とのぼり旗が目印です。



盛さんの食事の介護をする昭稱さん

みんなでオレンジリングをつけよう

認知症の実態として、周囲の偏見や理解不足が多くあります。中には「外に出さないでほしい」と言われた家族もいます。そのため、認知症のことを打ち明けられず、孤立することもあります。

周りとの関係性が少なくなると、症状の進行が速くなったり、虐待につながったりするケースもあります。

認知症サポーターを増やす

市では、平成20年度から「認知症サ

ポーター養成講座」を実施しています。これは、地域に認知症への理解者を増やすことで、認知症の人やその家族が病気のことや悩みを相談できる環境を作ることが目的に行われています。

講座は団体や企業などが対象で、テキストを用いて正しい知識や対応方法などを学びます。これまでに124回開催され、5985人が受講しました。受講者からは「これまで認知症を他人事のように思っていた」「地域での声掛けを大切にしたい」などの声が寄

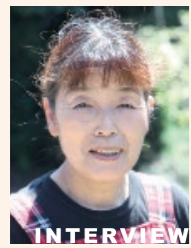


※オレンジリング
認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターの証。

写真右から富隈小学校5年 坂口慶志郎くん、福島玲奈さん、中吉美希さん、永留雄真くん



家族みんなで考えていく必要がある



認知症サポーター
松尾ちづ子さん(63)

農協の婦人部の活動で、今年2月に認知症サポーター養成講座を受講しました。現在、隣には89歳になる義母が住んでいます。認知症ではありませんが、「今さっきも聞いたがね」など、つい言ってしまうので、言葉一つ一つに気を付けないといけないと感じました。家族にも講座の内容を話し、義母が一人で寂しい思いをしないようにと近くに行く時も一緒に連れていきます。今度は家族で養成講座を受けて、これからも支え合って生きていきたいです。

◎認知症サポーター養成講座

認知症とはどんな病気か、どのように接すればいいのかなど、認知症の正しい知識を学ぶことができます。企業・団体の申し込みを受け付けています。
☎=霧島市地域包括支援センター ☎(48)7979

せられています。昨年には、受講者が路上で少し様子がおかしい高齢者を発見、積極的な声掛けで徘徊者だと分かり、無事に保護されるという出来事も起きるなど、成果が表れています。受講者には、「私は認知症の人を支援します」という意味のオレンジリングを配布。それをつけることで、認知症への意識向上につながっています。サポーターの輪を子どもたちにも広げるため市内の小学5年生と中学2年生を対象にした講座も実施しています。富隈小学校では、受講した児童がランドセルにオレンジリングをつけて、元気に登校しています。認知症の人とその家族を支えるために、今オレンジの輪が広がっています。



徘徊模擬訓練「どけ行つたら何」で、積極的に声掛けをする地域の方

認知症は隠す病気ではなく見守る病気

富隈地区自治公民館館長 柳 貞光さん(63)



認知症について地域で取り組んでいるのが隼人町富隈地区。市の「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のモデル地区にもなっています。同地区で昨年9月に発足したのが「認知症高齢者見守りネットワーク協議会」。団体の枠を超え、地域全体で認知症に取り組むことが目的で、地域、医療、福祉、警察、学校、消防など、さまざまな分野から参加しています。同協議会が取り組んでいることの1つが認知症サポーターの養成。2年間で1400人を目標にしており、地域住民だけではなく、富隈小学校や隼人中学校、鹿児島工業高等学校、企業などでも養成講座を行っています。

福祉Ⅱ見守り

昨年11月には、認知症の人が徘徊し

た時に対応できるように徘徊模擬訓練「どけ行つたら何」を開催。地域住民ら約250人が参加しました。

認知症役の10人が地域内を徘徊し、参加者が見つけて保護する内容で、いざ見つけても、認知症役の迫真の演技にどう対応していいか困る参加者もいました。

エリア内には、スーパーもあることから、実際に店内でも実施。定員が徘徊者を見つけ声を掛ける練習も行われました。

参加者のアンケートには「どのよう

に声を掛けていいか分からなかった」「普段から気を付けることで気付くことがある。そのためにもこのような訓練は必要」などの意見がありました。富隈地区自治公民館館長の柳貞光さんは「認知症は隠す病気ではなく見守る病気だと思います。そのためには、地域が認知症を正しく理解し、接し方を学ぶ必要があると思います。認知症サポーターの養成と徘徊模擬訓練に地域で取り組んでいます。少子高齢化が進み、福祉を前面に出した運営をしていかないと地域社会は成り立たなくなっています。私は、福祉Ⅱ見守り、だと思っています。高齢者や子どもを地域で見守るために、団体の枠を超えて地域全体のつながりをさらに強めていきたい」と意欲を燃やしていました。

平成25年度 心の健康を考える集い

「地域が、人が、あなたが支える認知症」をテーマに、認知症になっても笑顔で暮らすためにできることについて考えます。

- 日時=11月29日(金)午後1時~4時30分
- 場所=国分シビックセンター多目的ホール
- 内容=特別講演(講師:松下病院長 吉牟田直孝さん)、パネルディスカッション、声楽アンサンブル「カプリス」による演奏など
- 定員=300人(どなたでも参加できます)

※申し込みなどについては、問い合わせください。

問=鹿児島県精神保健福祉協議会
☎099(218)4755



地域サポートセンター「よいどこい」の利用者とそれを支える地域の方や福祉関係者

生かされるのではなく、自分で生ききる姿を支援したい



「たから」の理念
その本人の存在感が最期までしっかりとあゆむことを
支援する
その人の心で最期まで生き生きと暮らすことを
支える
その人の心で最期まで生き生きと暮らすことを
支える
その人の心で最期まで生き生きと暮らすことを
支える

認知症の人が住みなれた地域で暮らしていくためには、在宅を見守る家族の存在と地域の理解が必要です。しかし、実態は厳しいものがあります。24時間、目を離すことができません。思いが通じないイライラを背負って生活する家族。認知症を受け入れてくれない周りの目。越えなければならぬ現状があります。

の姿がありました。環境の変化についていけず、1か月で亡くなりました。症状や環境によっては施設などに入れる選択肢もあります。しかし、周りの支援があれば住み慣れた地域で生活できる人もいます。もう二度と、あんな悲しい思いはしたくない。そのためには、認知症の人と家族を支える地域の力が重要だと思いました。周りの支援の必要性を感じた黒岩さんは、認知症の人や地域の人が集える場所を作ることが必要と話します。「認知症の人が明るく生活するために大切なことは、介護をする人が笑顔で接することです。そのためには、地域との関係性を築き、悩みを相談できる場所を作ることが必要。私たち事業所の職員もできる限り地域の行事などに参加しています。最近では、私たちの施設の行事に利用者と一緒に地域の方も参加してくれれます。こうした小さなつながりが認知症の人と家族の心の支えになるんです」

最期まで自分らしく
認知症の人を支えるためには、その思いを知ることが大切だと考えた黒岩さんは、認知症の女性と交換日記をしたことがあります。そこで気付いたことは、認知症の人の苦しみでした。「トイレに浮かんでいるものが何な



黒岩尚文さん(45)
地域サポートセンター「よいどこい」(国分府中町)、共生ホーム「よかあんべ」(始良市)、小規模多機能ホーム「たから」(十島村)を運営する株式会社浪漫の代表取締役。霧島市ライフサポートワーカーとして認知症を支える地域づくりに取り組む。全国小規模多機能居宅介護事業者連絡会理事、社会福祉法人山陵会理事、特定非営利活動法人「てのひら工房」理事長。

あの悲しい思いをしないために
以前から、認知症を地域で支えようとして取り組んでいるのが、「私のアルバム」の考案者で、市のライフサポートワーカーでもある黒岩尚文さん(45)。国分府中町で地域サポートセンター「よいどこい」を運営し、地域に根差した認知症サポートに取り組んでいます。黒岩さんが地域にこだわる理由には、忘れられない経験がありました。「相談者の夫が認知症で、徘徊などを繰り返していたため、周りに迷惑をかけたくない」とその夫を施設に入れることに。私は心配になって施設に行くくと、座り込んでばかり見ている彼

のか理解できない。こんなものが私の中から出てきたのか。私はそんな汚い人間なのか。日記に記された悲痛な文字に、記憶を少しずつ失っていくことがこんなに残酷でつらいものなのかと言葉を失いました。認知症の人は不安でいっぱいなんです。でも認められたい、欲求が満たされたりすると、本当はうれしそうに表情をします。認知症であっても、人々なんです。その人の思いを尊重し、家族や地域が寄り添っていきけるような、そんな関係性を作っていくことが大切です。認知症の人でも、できることはあります。できないことだけに目をやるのではなく、できることにスポットを当てることで輝くことができます。黒岩さんは「その人らしく生きるためには、生かされるのではなく、自分で生ききっていく、そんな姿を支援できるような社会にしていきたい」と話します。

今後、認知症の人がさらに増えることが予想されます。みんなの「ライフ(生命・生活・人生)」のために、あなたにも地域社会にもできることがあります。まずは認知症と向き合うことから始めてみませんか。誰もが最期まで自分らしく生きていくために。



ミュージカルで郷土を学ぶ

お祝みのくに
大隅国建国1300年を記念した市民参加型ミュージカル「大隅浪漫」が8月17日、18日に、霧島市民会館で上演されました。物語は1300年前にタイムスリップし、歴史や

文化を体験しながら郷土愛を深める内容。3月に公募した小学生から60代までの市民約60人が、週3日のペースで練習を重ね見事な演技を披露し、約1,800人の観客から大きな拍手が送られました。子どもと観劇した国分の郡田飛鳥さんは「郷土の歴史を学べて、ますますこのまちが好きになりました。子どもたちにも見せることができ良かった」と喜んでいました。



岩田産業と立地協定締結

外食産業専門で食品卸業の岩田産業株式会社が霧島市に事業所を新設することになり8月19日、霧島市と立地協定を締結しました。本社は福岡県で昭和46年創業、年商は209億円。今回、国分敷根に新設される霧島営業所（仮称）は、南九州地域のニーズに対応し、地域に密着したきめ細かなサービスの提供と販売体制の整備のために交通アクセスに優れた霧島市に立地することになりました。着工は平成25年9月で来年3月の完成を目指し、新規雇用者は5人。同社の進出は雇用の創出と地域経済の発展に大きく貢献することが期待されます。

宝くじの助成を受けて実施した大隅国建国1300年記念事業「隼人舞の共演」が8月20日、霧島市民会館で開催されました。「鹿児島市宮内宮隼人舞」と鹿児島市坂元町に伝わる「せざる隼人舞」、南九州の隼人が移住し伝えられたという京都府京田辺市大住地区の「大住隼人舞」が披露され、約800人の観客は熱心に見入っていました。鹿屋市から訪れた松下高明さん(63)は「隼人舞は知っていたが、見たのは初めて。歴史と伝統を感じました。鹿児島と京都の交流も素晴らしい。ずっとつながっていくといいですね」と笑顔で話していました。



隼人舞、時を越えて夢の共演

お祝みのくに
大隅国建国1300年記念事業「隼人舞の共演」が8月20日、霧島市民会館で開催されました。「鹿児島市宮内宮隼人舞」と鹿児島市坂元町に伝わる「せざる隼人舞」、南九州の隼人が移住し伝えられたという京都府京田辺市大住地区の「大住隼人舞」が披露され、約800人の観客は熱心に見入っていました。鹿屋市から訪れた松下高明さん(63)は「隼人舞は知っていたが、見たのは初めて。歴史と伝統を感じました。鹿児島と京都の交流も素晴らしい。ずっとつながっていくといいですね」と笑顔で話していました。

桜島大正噴火100周年事業「霧島市市民火山フォーラム」が8月25日、霧島市民会館で開かれ、講演やシンポジウム、パネル展示などがありました。桜島は来年1月12日に大正噴火から100年を迎えます。フォーラムでは、京都大学防災研究所火山活動研究センターの井口正人教授が「マグマだまりには大正噴火時の約90%のマグマが溜まっており、今後、大正噴火級の噴火も予想される」と危険性を示唆。噴火が起きた場合に霧島市でどのような被害があるかなどの説明もあり、会場に集まった観客は、熱心に聞き入っていました。



過去の噴火から未来を学ぶ

桜島大正噴火100周年事業「霧島市市民火山フォーラム」が8月25日、霧島市民会館で開かれ、講演やシンポジウム、パネル展示などがありました。桜島は来年1月12日に大正噴火から100年を迎えます。フォーラムでは、京都大学防災研究所火山活動研究センターの井口正人教授が「マグマだまりには大正噴火時の約90%のマグマが溜まっており、今後、大正噴火級の噴火も予想される」と危険性を示唆。噴火が起きた場合に霧島市でどのような被害があるかなどの説明もあり、会場に集まった観客は、熱心に聞き入っていました。

桜島大正噴火100周年事業「霧島市市民火山フォーラム」が8月25日、霧島市民会館で開かれ、講演やシンポジウム、パネル展示などがありました。桜島は来年1月12日に大正噴火から100年を迎えます。フォーラムでは、京都大学防災研究所火山活動研究センターの井口正人教授が「マグマだまりには大正噴火時の約90%のマグマが溜まっており、今後、大正噴火級の噴火も予想される」と危険性を示唆。噴火が起きた場合に霧島市でどのような被害があるかなどの説明もあり、会場に集まった観客は、熱心に聞き入っていました。

数十年に1度の重大な災害時
特別警報の発表を開始
いざというとき、日ごろの備えが重要です

気象庁では、災害が起こる恐れがあるとき、警報を発表して警戒を呼び掛けているが、東日本大震災など重大な災害時には、災害時の危険性が十分に伝わらない例がありました。そこで、重大な災害の発生が迫っていることを伝えるため

に、8月30日から新たに「特別警報」の発表を開始しました。この警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に1度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の場合や避難指示・勧告などに留意し、直ちに命を守るための判断・行動をとってください。日ごろから危険箇所や避難場所、避難ルートを確認し、情報収集に努めましょう。

特別警報は、テレビやラジオ、防災行政無線などで伝えられます。詳細は気象庁のホームページをご覧ください。問い合わせください。

◎**問** 鹿児島地方気象台 防災業務課 ☎099(250)9919

特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪	数十年に1度のレベル
津波	3m超の津波が予想される大津波警報
火山噴火	噴火警戒レベル4以上の噴火警報
地震	震度6弱以上の地震が予想される緊急地震速報



7300年前の始良カルデラの噴火の様子



白い模型に霧島山の成り立ちの映像が映し出される



広々とした空間



平成23年に噴火した新燃岳の噴石



霧島にすむチョウなどの標本



床に張られた航空写真の周りにいすを配置

霧島山の魅力満載

霧島ジオパークを学ぶ

えびのエコミュージアムセンター
リニューアルオープン

えびの高原の「えびのエコミュージアムセンター」が、7月20日にリニューアルオープンしました。霧島に生息する動植物や霧島山の成り立ちなどが写真や映像、模型などでより分かりやすく展示されています。新設されたカウンターでは、職員が登山や自然散策の際の情報を提供します。

館内は自然、登山、ジオパーク情報などのコーナーと70人収容の会議室があり、2階展望デッキからは双眼鏡で霧島山の動植物も観察できます。展示は、最新の研究に基づいた内容で、「山は初めて」という人から専門家まで楽しんでいただけるように工夫されています。チョウや鳥、シカなどの小動物のコーナーは子どもたちの興味を誘います。ジオラマ展示では登山できる範囲を示した大型の模型があり、景色のいい展望ポイントを紹介。真つ白な霧島山の模型には、天井からプロジェクターで霧島山の成り立ちを紹介する映像を映し出します。説明文には外国語を表示し、外国人客を意識したつくりになっています。

山の魅力を知ってください
「分かりやすい展示だけでもっと知りたい」。そんな時には職員の方に解説してもらいましょう。

センターを所管する環境省えびの保護官事務所の森川政

人保護官は「ここは登山者への山に関するリアルタイムな情報の発信基地。山を楽しむための入り口です。センターで学び、山に登り、降りてきてまた学ぶ。山の風景が違って見えるかもしれません」と話します。

登山者の中には山で見てきた花の名前を確かめに訪れる人や登山記念バッジ、3Dポストカードなどを買い求める人もいます。

7月29日、霧島ジオパークの世界推薦現地審査のため同センターを訪れた日本ジオパーク委員会の中田節也委員は、「ダイナミックな展示に脱帽する。まとまっていても素晴らしい」と絶賛。さあ、山の魅力を確かめにエコミュージアムセンターへ出かけてみましょう。

●入館無料（駐車場 二輪車100円、乗用車410円）
●開館時間 午前9時～午後5時（年中無休）

◎**問** えびのエコミュージアムセンター ☎0984(33)3002、宮崎県えびの市 永149515



錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ることを目指します。

錦江湾奥会議

環霧島会議

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定



錦江湾奥イベント

垂水市 垂水カンパチ祭り



・日時=9月21日(土)、9月22日(日) 午前10時~午後3時
 ・場所=垂水市漁業協同組合内
 ・内容=垂水市沖の錦江湾で養殖されているカンパチ料理に加え、餌やりや一本釣りなどのブルーーツーリズムも体験できます。
 関=垂水市水産商工観光課 ☎0994(32)1111

始良市 山田の里かかし祭り



・日時=[祭り]9月23日(月・祝) 午前9時30分~午後1時
 [かかし展示]9月上旬~祭りの日
 ・場所=[祭り]始良市立山田小学校
 [かかし展示]付近の県道40号沿い
 ・内容=かかしが並び、郷土芸能が披露されます。
 関=山田郵便局 ☎(65)3053

鹿児島市 かごしま水族館特別企画展



・期日=9月23日(月・祝)まで
 ・時間=午前9時30分~午後6時(入館は午後5時まで)
 ・場所=かごしま水族館
 ・内容=世界のハオリムシの紹介やキッズコーナー、記念イベント、オリジナルグッズ販売など。
 関=かごしま水族館 ☎099(226)2233

環霧島イベント

曾於市 フレンズコンサートin Soo vol.6



・期日=9月20日(金)
 ・時間=午後7時から
 ・場所=曾於市大隅文化会館
 ・出演者=岡本真夜、辛島美登里、沢田知可子
 ・料金=前売券3,500円(当日券4,000円)
 関=曾於市大隅文化会館 ☎099(482)1216

小林市 吉都線100周年祭



・期日=9月29日(日)
 ・時間=午前9時~午後6時
 ・場所=JR小林駅、駅前通り、小林市文化会館など
 ・内容=グルメフェアや記念講演、資料展示などを行います。
 関=吉都線100周年記念事業小林市実行委員会事務局 ☎0984(23)7888

高原町 軽トラ市



・期日=10月20日(日)
 ・時間=午前8時~11時30分
 ・場所=中央商店街(高原郵便局付近)
 ・内容=中央商店街を歩行者天国にして、特産品などを積んだ軽トラックが並びます。
 関=たかはるよりどり交流市運営協議会 ☎0984(42)1839

環霧島・錦江湾奥イベント情報

杜の穂倉
 が充実しています。どれもここでしか手に入らない「杜の穂倉」だけの自慢の特産品です。

今月は高原町と湧水町の物産館を紹介いたします。
杜の穂倉
 高原町にある「杜の穂倉」では、農事組合法人「はなどう」で収穫した、お米・麦・菜種・金ごまを使用して、オリジナル商品を販売しています。栽培から収穫・加工・販売まで心を込めて手がけていますので、安心して利用することができます。
 また、新鮮な野菜・果物をはじめ、総菜・パン・お菓子など地元生産者が栽培・製造された商品



環霧島探訪

—かんきりしまたんぼう—

●所在地 宮崎県西諸原郡高原町大字蒲牟田7880-2
 ●営業時間 午前9時~午後6時 ※年中無休
 ◎問 ☎0984(42)1839

●所在地 宮崎県西諸原郡高原町大字蒲牟田7880-2
 ●営業時間 午前10時~午後4時30分
 ●休館日 年末年始
 ◎問 ☎0995(74)5690



栗太郎館

●所在地 宮崎県西諸原郡高原町大字蒲牟田7880-2
 ●営業時間 午前9時~午後6時 ※年中無休
 ◎問 ☎0984(42)1839

思い出の味を募集しています。住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、あなたの心に残る、食べたらなぜか元気になる味をエピソードとともにお願いします。採用された方には後日連絡の上、取材させていただきます。
 (宛先)〒899-4394 国分中央三丁目45番1号 秘書広報課「思い出の味」係

なぜか元気になる
 思い出の味



Recipe (レシピ)

◎月見だんご
〈材 料〉 木綿豆腐200g、白玉粉120g、あんこやきな粉などお好みで適量。
〈作り方〉 ①白玉粉によくすりつぶした豆腐を加え、こねる。(耳たぶの固さになるように豆腐の量を加減する)
 ②適当な大きさに丸め、沸騰したお湯でゆで、浮きあがったら冷水に取る。
 ③あんこを添えたり、きな粉(砂糖を混ぜたもの)をまぶしたり、お好みで。
 ※水を使わず豆腐を入れてこねると、時間がたっても固くなりません。

朝 晩の空気も涼しくなり、秋の気配が近づいてきました。秋といえば十五夜。旧暦の8月15日に月見をする行事で、月の神様に、だんごや秋の収穫物などを供え、五穀豊穡を祝い、感謝します。
 横川町山ヶ野に住む濱本伸子さん(70)は、3年前に亡くなった母・吉見法子さんの教えで、季節を考えた食事や行事食を大切にしてきました。十五夜もその一つで、毎年だんごを作り、お月見をします。
 「小さいころ、母と月見だんごを作っていました。もちもちとした食感と優しいあんこの甘さが大好き。何より母と過ごす時間が楽しかったことを覚えています。結婚を機に山ヶ野を出てからも、子どもたちと一緒に月見しました」
 濱本家の十五夜は、箕(農作業に使われていた道具)に月見だんごと芋や柿などの収穫物、お神酒、ろうそくを並べ、一升瓶にススキ、クリの木、ハギを差して供えます。
 「18年ほど前、夫の定年退職を機に、山ヶ野に戻ってきました。長崎出身の夫もここ

十五夜にありがとうを込めて

「母は介護する私たち夫婦に『私はまぢ一番の幸せ者だ』と言ってくれました。十五夜に思い出すのは、明るくて朗らかだった母のこと。今年もゆっくりお月様を眺めます」
 今年も十五夜は9月19日。皆さんも感謝の気持ちを込めて、お月見をしませんか。



◎横川町山ヶ野 濱本伸子さん(70) 芳雄さん(74)

炎 天下の国分陸上競技場。トラックを走る学生たちを背中に、一人黙々と練習に打ち込む白髪交じりの男性。74年の歳月を感じさせない健脚は、鋭く地面を蹴り、風のように駆け抜ける。

「100分の1秒でも早く走りたい」と練習に没頭する下新原明人さん(74)は、7月29日に行われた九州マスターズ陸上競技選手権の70歳以上の部200メートルで見事優勝を果たしました。60メートルと100メートルはともに3位。現在、9月に佐賀県で開催される全国大会に向けて、練習に励んでいます。

平成15年、63歳で九州旅客鉄道株式会社を退職。翌年、ふとしたことから鹿児島市で開催されたマスターズ陸上の全国大会を見に行くことに。マスターズ陸上とは、女子25歳以上、男子30歳以上が、年齢5歳刻みのクラス別に競技するもので、記録の向上はもちろん、健康増進や交流などを目的に多くの方が登録しています。同年代や年配の人たちの走る姿に触発された下新原さんは「自分も走ってみたい」と、平成17年、65歳のときに鹿児島マスターズ陸上競技連

盟に登録しました。

運動の経験はほとんどなかった下新原さんですが、持って生まれた健康な体と運動神経の良さから、すぐに頭角を現します。短距離走のとりこになり、71歳のときに出

人の風景
THE SCENE
霧島に生きる

74歳、それでも前へ

した自己ベストタイムは、1000メートル13秒80。「走っている瞬間は、無。ゴールしたときの爽快感がたまらない」とその魅力について楽しそうに話します。少しでも早く走りたいとタイムにこだわり、走るための体づくりに取り組み、いつしか走る事が生活の中心になっていました。

「健康のこと、体のことを本気で考えるようになりました。体にいいと聞けば何でも試し、健康関連の新聞記事はすぐにスクラップ。バナナと黒酢と黒砂糖を使った手作りのオリジナルドリンクは、もう5年以上飲み続けています。食事に気を付け、3日に2日は練習。走ることに夢中なんです」
充実したセカンドライフを送る下新原さんが健康志向になったのには、走ることで外にもう一つ理由がありました。走り始めて2年も経たないころ、妻・信子さんが突然倒れます。幸い大事には至らず、回復へ向かいますが、信子さんの存在の大きさと健康のありがたさを実感したといいます。「妻が倒れて、今まで家のことを任せ

きりだったと反省しました。それからはできるだけ手伝うように。私が仕事を続けてこられたのも、走ることに没頭できたのも妻の「内助の功」のおかげ。二人一緒に健康で長生きしないと意味がないんです」
平成23年、和歌山県で開催された全国大会には、信子さんをはじめ、県内外に暮らす子どもや孫も応援に駆け付けました。結果は60歳が自己最高の2位。全国大会で初めての表彰台でした。

「家族の応援が私の背中を押しします」と目を細める下新原さん。今の目標は「100歳まで走り続けること」と、3種目全国優勝」。
「夢に遅すぎることはありません。その時点で自分のベストを尽くすことが大事。走ることで全国にたくさんの方の良きライバルができ、交流の輪が広がりました。そして何より家族の大切さを実感しました。私の夢は今も周りに支えられ、前進しています」
立ち止まらない74歳は、ゴールを目指して、今日も走り続けます。



しもしんばらあきと
下新原明人さん(74)
65歳で鹿児島マスターズ陸上競技連盟に登録し、日々練習に励む。自他ともに認める練習好き。自宅には孫の写真とこれまで獲得したメダルがずらりと並ぶ。子ども二人は独立し、妻と単人町で二人暮らし。身長156cm、体重52kg。



①走る前はいつも入念に準備運動。ハードルやラダー(はしご状のトレーニング用品)は全て手作り ②自分の弱点を鍛えるために考えた練習方法に真剣な表情で取り組む ③部屋にはこれまで獲得したメダルがずらり

主要事業一覧

事務事業名
医療体制の整備
夜間救急診療支援事業
保険制度の適切な運営
特定健康診査事業
市民の健康意識の向上
地域自殺対策緊急強化事業
こころと身体の健康管理の実践・支援
各種がん検診事業
食育の推進
食育推進事業
生活困窮者への支援
セーフティネット支援対策等事業
地域住民による支えあい
災害時要援護者台帳整備事業
障がい者の地域生活移行や就労支援等のサービス
手話通訳者設置事業
母子保健の充実
母子健診事業
特定不妊治療費助成交付事業
子育て家庭のワーク・ライフ・バランスの推進
放課後児童健全育成事業
子育て一時預かり支援事業
子どもの健やかな成長のための負担軽減
ひとり親家庭医療費助成事業
母子家庭高等技能訓練促進
要保護児童等への対応
家庭児童相談事業



かかりつけ医等推進事業 (医療体制の充実)

いざという時のかかりつけ 電話=健康増進課 ☎(64)0905
 市民一人一人が安心して健康的な生活を営むために日常の健康管理や病気予防、治療など身近で安心して相談できる、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を決めていることが重要であることを普及・啓発しています。



健康生きがいきづくり推進モデル事業 (こころと身体の健康づくりの推進)

地域のみならず健康づくり 電話=健康増進課 ☎(64)0905
 市民の皆さんと協働して地域住民の健康づくりや生きがいきづくりの意識を高め、地域の特性やニーズにあった健康づくり、生きがいきづくりの取り組みができるように全89地区自治公民館で健康生きがいきづくり推進モデル事業を実施しています。



元気アップ高齢者通所介護予防事業 (地域における福祉の推進)

元気に運動、体力アップ 電話=長寿・障害福祉課 ☎(64)0995
 二次予防高齢者(虚弱高齢者)に対する通所介護予防事業をおおむね6か月ごとに通所介護事業所などへ委託して実施します。事業効果を個別に評価して、要介護(支援)状態になる高齢者の減少を図っています。



発達支援教室事業 (地域における福祉の推進)

子どもにあったプログラムを助言 電話=健康増進課 ☎(64)0905
 発達に不安のある子どもの支援を行う拠点として、発達外来・発達相談・発達支援教室などを実施します。子どもの個性を伸ばす環境づくりを目指し、地域の関係者や関係機関との連携を図っています。



子育て支援センター管理運営事業 (子育て環境の充実)

次代を担う子どもを育てる 電話=児童福祉課 ☎(64)0991
 安心して子育て・子育てができる環境を整備するため、子育てで親子の交流の場の提供と交流を進めています。また、子育てなどに関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報を提供しています。

「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」を目指して
霧島市の未来予想図

第一次霧島市総合計画7つの柱

- ①快適で魅力あるまちづくり ②自然にやさしいまちづくり ③活力ある産業のまちづくり ④育み磨きあうまちづくり
- ⑤たすけあい支えあうまちづくり ⑥共生・協働のまちづくり ⑦新たな行政経営によるまちづくり

第5節 たすけあい支えあうまちづくり



子ども医療費助成事業 (子育て環境の充実)
 [安心して子どもを育てられるまち]
 これまで子どもの医療費助成は、就学前までの乳幼児のみでしたが、平成25年10月診療分から出生から中学校卒業までの子どもに拡充されます。子どもの病気の早期発見と早期治療を促進し、子育て家庭の経済的負担を軽減します。
 電話=児童福祉課 ☎(64)0991



隼人町在住
 篠原久美子さん(33) 玖歩さん(8) 悠玖ちゃん(6)

子どもは二人とも元気で、病院に行くことはほとんどありませんが、昨年、娘が馬跳びをして遊んでいたときに右腕を骨折。1か月以上のギブス生活で治療費がかかりました。10月から中学生まで医療費助成があるとのこととても助かります。子育てサロンなども利用していましたが、霧島市は子育てに優しいまち。これからも子育て支援に力を注いでください。

霧島市では市民の皆さんが安心していきいきと暮らせるように、福祉と医療の充実を力をつけています。また、生活習慣病の予防や早期発見、早期治療にも努め、食育の推進などを通じて市民の健康づくりを進めています。加えて、「霧島市に住みたい、霧島市で子育てをしてみたい」と思ってもらえるよう子育て環境の充実を図っています。

そのための政策が「たすけあい支えあうまちづくり」で、それらを実現するために4つの施策があります。

一つ目が「医療体制の充実」。夜間の軽症の救急患者にも対応するため、医師会医療センターで行っている夜間救急診療の支援や医師会医療センターの機能充実を図ります。

生活習慣病の前段階、メタボリックシンドロームの早期発見を目的に特定健康診査事業などを実施しています。

二つ目は「こころと身体の健康づくり」です。自殺予防対策の普及啓発を行い、心の健康づくりに努めています。病気の早期発見、早期治療

のための各種がん検診、健康教育・健康相談を実施。「食育」の関係者が連携し、食育を推進しています。

三つ目は「地域における福祉の推進」。一人暮らしの高齢者など災害時に手助けが必要な人の台帳を整備し、自主防災組織などに提供、要援護者の支援に生かしています。

障がい者の地域生活移行や就労支援のため、身近な地域のサービス拠点づくりや地域の社会資源を最大限に活用し、基盤整備を進めています。

四つ目の「子育て環境の充実」は最重点施策の一つです。妊娠中から乳幼児期まで継続した各種健診など母子保健の充実を図っています。このほか、放課後児童健全育成事業、子育て一時預かり支援事業の実施など、「安心して子どもを産み、子育てができる霧島市」の実現に努めています。

市ではこれらの取り組みを市民、行政、地域が一体となって進めることで、医療、福祉、健康、子育てに不安のない、たすけあい支えあうまちづくりの実現を目指します。

お知らせ

霧島市長選挙・市議会議員選挙の立候補予定者説明会

市長選挙

日時 10月9日(水) 午前10時から

場所 市庁舎第一会議室

市議会議員選挙

日時 10月9日(水) 午後1時30分から

場所 市庁舎第一会議室

住宅・土地統計調査にご協力ください

10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、「統計法」に基づき、住宅生活に関するさまざまな施策のための基礎資料を得ることを目的とし、調査結果は、私たちの暮らしと住まいに関する政策の立案などの貴重な基礎資料となります。

9月下旬から、対象となった世帯へ調査員が訪問し調査票を配布します。記入された

調査票は、厳重に管理し、統計の作成に関する目的以外に使用することはありません。調査へのご理解とご協力をお願いします。

情報政策課統計グループ ☎(64)0933

空き家調査を実施

少子高齢化や過疎化が進み、管理不全による空き家が多くなっています。昨年度の調査で把握した空き家の状態(劣化度など)を詳しく調べて、その対策を検討するための調査を実施しています。

調査員証と腕章を携帯した調査員(市の委託業者)が市内を巡回しますので、ご理解とご協力をお願いします。

調査期間 平成26年2月下旬まで(予定)

委託機関 (公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター

建築指導課建築指導グループ ☎(64)0954

福祉手当を支給します

重度心身障がい児、重度心身障がい者および災害遺児の福祉増進を目的として、霧島

酒運転8せん運動、全席ベルト着用! 「します・させます運動」を展開中です。

安心安全課交通防犯グループ ☎(64)0997

オータムジャンボ宝くじが発売されます

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりや環境対策、少子高齢化への対応など、地域住民の福祉向上のために使われます。

発売期間 9月20日(金)～10月11日(金)

抽選日 10月18日(金)

市町村振興協会 ☎099(206)1001

市民と自衛隊のついで

市民と自衛隊員による、寸劇や演奏、踊りなど、盛りだくさんの楽しいイベントです。

公開リハーサル

日時 10月4日(金) 午後6時30分開演

本番

日時 10月5日(土)

市福祉手当を支給します(特別障害者手当などの受給者は除く)。受給資格のある方は、長寿・障害福祉課、単人福祉課、各総合支所市民福祉課に申請してください。

※平成24年度に霧島市でこの手当を受給された方は、申請の必要はありません。

受給資格者 平成25年10月1日現在、霧島市に継続して1年以上住所を有し、次のいずれかに該当する方。

身体障害者手帳1級または2級を所持する方。

療育手帳A、A1、A2を所持する方。

身体障害者手帳3級と療育手帳B1をあわせて所持する方。

精神保健福祉手帳1級を所持する方。

不慮の災害のために父母の両方もしくは一方が死亡した義務教育終了前の方。ただし、父または母が婚姻関係(事実上の婚姻を含む)に至った方は除く。

必要なもの 申請する方の印鑑(認め印可)、身体障害者手帳、療育手帳または

後6時30分開演

場所 霧島市民会館

入場料 無料。ただし入場券が必要。入場券は9月18日(水)から霧島市役所

国分庁舎総合案内、単人庁舎地域振興課、各総合支所

地域振興課で配布します。

理の受領はご遠慮ください。

※公開リハーサルは入場券不要

総務課 ☎(64)0915

かごしま宝探し

観光かごしま大キャンペーン推進協議会が実施する、大隅地域で「ナゾトキ」をしながら、お宝を探すゲーム感覚の楽しいイベントです。「宝の地図」を入手し、イベントに参加してください。

クリアした方の中から抽選で豪華賞品(賞金や大隅地域の特産品など)総額100万円が当たります。

実施期間 9月30日(月)まで

宝の地図の配布場所 鹿児島中央駅、県内の観光案内所、大隅地域の道の駅・物産館など。(鹿児島県観光

精神保健福祉手帳、本人名義の通帳。

手当の額 2年額1万円(10月1日現在で手帳の交付を受けてから6か月未満の方は5000円)

受付期間 10月1日(火)～11日(金) ※期間厳守

長寿・障害福祉課障害福祉グループ ☎(64)0995

住民基本台帳カードの有効期限をご確認ください

平成15年8月から住民基本台帳カードを交付しています。

有効期間が10年間なので、今年8月以降、期限が切れる方が出てきます。有効期限が切れると、本人確認や住民票の写しの広域交付、転出転入時の特例処理などで使用できなくなり。

引き続き住民基本台帳カードの利用を希望される方は、事前に問い合わせください。

更新を希望されない方はカードを窓口へ返納してください。

※有効期限は住民基本台帳カードの表面に記載されていますので、ご確認ください。

市民課窓口グループ ☎

相談

成年後見無料相談会

判断能力が不十分な方々(認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など)の財産管理や福祉などについて、無料で相談に応じます。希望の方は問い合わせください。

日時 10月5日(土) 午前10時～午後4時

場所 鹿児島県民交流センター 東棟4階大研修室第3

県司法書士会、(公社)成年後見センター・リーガルサポート鹿児島支部 ☎099(251)5822

募集

天降川地区共同利用施設自主講座

手作り味噌講座

日時 9月25日(水) 午後1時～3時、9月27日(金) 午前10時～正午(全2回)

定員 12名(成人男女)

準備するもの エプロン、三角きん、筆記用具、マスク

受講料 1500円(材料費込み) 1人当たり約500円のみそを持ち帰ります。

申込方法 直接または電話

天降川地区共同利用施設 ☎(43)1951

お茶いっぺ。

ふるさとウォーク

溝辺町竹子地区の網掛川沿いの自然を満喫し、おいしいお茶を飲みながらゆっくりと歩きましょう。

日時 9月22日(日) 午前8時30分～午後1時30分(受付 午前8時から)

集合場所 竹子小学校

参加資格 健康で完歩可能な方(歩行距離約8km、約11.5km、約15kmの周回コース)

参加料 中学生以上500円、小学生以下100円(保険料込み)

※昼食を希望される方はコース近くに、そうめん流し」竹

(64)0901、単人市民課各総合支所市民福祉課

青少年海外派遣生帰国報告会

霧島市国際交流協会では、夏休み期間中にアメリカ、マレーシア、ベトナムでホームステイなどを体験した中高生22人の帰国報告会を開催します。(事前申し込み不要)

日時 9月27日(金) 午後6時30分から

場所 国分公民館3階大研修室

国際交流協会事務局(企画政策課内) ☎(64)0914

自殺予防週間

9月10日から16日は自殺予防週間です。平成24年に全国で2万7858人、霧島市でも23人の方が自殺で亡くなっています。自殺はその多くが追いつかぬ死の死で、防ぐことのできる社会的な問題です。自殺を考えている人は何らかのサインを発していることが多い一方、家族や同僚など身近な人でもそのサインに

健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(45)5111(内線2181)

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動

市からのお知らせ

※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先 ※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業 (20歳以上が対象)

健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(45)5111 (内線2181)

川峡」があります。
●申込方法 Ⅱ 電話かファクス。
◎**問・申** Ⅱ ふるさとウォーク実行委員会「最勝寺」 ☎090(8847)1751、FAX(59)2345

国際交流員と交流しよう

コース名	国際交流ダンス教室	中国語教室	国際交流お菓子作り
内容	中東のベリーダンスをしましょう。 健マ	中国の文化や中国語を学びましょう。	フランスのエクレーアを作りましょう。 健マ
日時	10/2(水) 14:00~15:30	10/8(火) 【初級】18:00~18:50 【中級】19:00~19:50	10/16(水) 14:00~16:30
場所	国分公民館4階音楽室	国分公民館3階 中会議室	国分公民館2階 調理実習室・講義室
定員(対象)	先着15人 (中学生以上の女性)	先着各10人 (高校生以上) ※	先着15人
参加料	無料	無料	500円(保険料込み)
申込期限	9/27(金)	10/1(火)	10/9(水)

◎**問** Ⅱ 企画政策課国際交流グループ
※申込少数の場合は中止、または初級・中級クラスを合わせて行う場合があります。

ループ ☎(64)0914
◎**問・申** Ⅱ サン・あまり **健マ**

講座名	日時	開講日	定員	受講料
太極拳	10~12月 14:00~15:30 (全10回)	10/4(金)	先着20人	4,000円
骨盤エクササイズ	10~12月 9:30~10:30 (全9回)	10/7(月)	先着30人	3,600円
らくらく骨盤エクササイズ (初心者向け)	10~12月 10:50~12:00 (全9回)	10/7(月)	先着30人	3,600円
たのしいテニス (初級講座)	10~12月 9:30~11:30 (全10回)	10/22(火)	先着15人	3,500円

●申込方法 Ⅱ 直接または電話。
◎**問・申** Ⅱ サン・あまり ☎(43)3373 **健マ**

メディアセンター主催講座
501 / デジカメ写真加工講座入門コース
10月22日(火)、23日(水)
502 / デジカメ写真加工講座ステップアップコース
10月24日(木)、25日(金)
時間 Ⅱ 午前9時30分~午後3時30分

●会場 Ⅱ メディアセンター
●受講料 Ⅱ 1000円
●定員 Ⅱ 20人
●申込方法 Ⅱ 往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。
●申込期限 Ⅱ 10月8日(火) 必着
●受講決定 Ⅱ はがきで通知 (申込多数の場合は抽選)
◎**問・申** Ⅱ メディアセンター ☎(64)0919、〒899-4394 国分中央三丁目45-1

霧島シルバー観光ガイド養成研修

霧島市シルバー人材センターでは、平成26年度から霧島市の観光地案内を始めます。案内ガイドの養成研修を実施しますので、希望の方は申込用紙(同センターにあります)を提出してください。
●対象 Ⅱ 霧島市シルバー人材センター会員が60歳以上で会員希望の方。
●期間 Ⅱ 10月末~平成26年3月(全8回、18時間)
●内容 Ⅱ 霧島市の概要や観光、おもてなしなどを学ぶ。
●定員 Ⅱ 先着20人

●申込期間 Ⅱ 9月10日(火)~10月10日(木)
◎**問・申** Ⅱ 霧島市シルバー人材センター ☎(42)8585
始良・伊佐地域体験モニターツアー
●日時 Ⅱ 11月7日(木) 午前9時~午後5時
●集合場所 Ⅱ 霧島市役所
●行程 Ⅱ みやまコンセール(ミニコンサート)、上床牧場アンの家(チーズ・バター作り)、丸池湧水など。
●条件 Ⅱ 観光施設ごとにアン

●申込期間 Ⅱ 9月17日(火)~10月11日(金)
●定員 / 参加料 Ⅱ 20人 / 無料
●申込方法 Ⅱ はがきかファクス、県ホームページの入力フォームで。(申込多数の場合は抽選。決定通知を送付します)
◎**問・申** Ⅱ 始良・伊佐地域観光連絡協議会事務局(始良・伊佐地域振興局内) ☎(63)8206、FAX(63)8108、〒899-5212 始良市加治木町諏訪町12

大隅国建国1300年 記念
大隅国は和銅6(713)年に建国され、その国府は霧島市に置かれたと推定されています。今年には建国1300年を迎えることを記念して、さまざまなイベントを実施します。

■市内史跡めぐり「きりしま歴史散歩」 **健マ**
●日時=10月6日(日) 午前8時~正午(受付=午前7時40分から)
●集合場所=隼人庁舎前駐車場
●内容=式内社めぐり(宮浦宮や霧島神宮などをバスで巡ります)
●対象/定員=小学生以上/25人程度
●参加料=700円
●申込方法=直接または電話で。
●申込期間=9月12日(木)~26日(木)
※飲み物などをご準備ください。一部徒歩もあります。
◎**問・申**=文化振興課文化財グループ ☎(42)1119

新刊紹介

鳥は主を選ばない

安部智里 作
八咫鳥の世界で繰り広げられる、日嗣の御子の座をめぐる権力争い。突然宮中に放り込まれた少年は、兄を追い落とし世継ぎの位についた若宮とピンチを乗り切れるのか?



マンボウ思い出の昆虫記

北杜夫 作
少年時代の昆虫採集、北アルプスへの登高、軽井沢での交流、昆虫愛好家との晩年のつきあい。永遠の昆虫少年・北杜夫のエッセイを収録。



富士山の大図鑑

富士学会 監修
日本を代表する名峰・富士山の自然をはじめ、噴火の歴史・環境問題、登山ルート、富士山をテーマにした絵画や文学などを写真やイラストとともに紹介。



ぼくの手わたしの手

齊藤美春 写真
手は、いろいろなことができます。手は、いろいろなことを表現します。いろいろなはたらきをする手をモノクロの写真でつづった絵本。



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

北の街物語 / 内田康夫
すなまわり / 鶴川健吉
離れ折紙 / 黒川博行
菩提樹荘の殺人 / 有栖川有栖
働かないの / 群ようこ
その青の、その先の / 柳月美智子
海賊女王 上下 / 皆川博子
花や咲く咲く / あさのあつこ
ライオンの棲む街 / 東川篤哉
初心者のための配色レッスン / 賀来陽子
疎開した40万冊の図書 / 金高謙二
うまれたよ、ベットン / 服部千春
クサヨミ / 藤田雅矢
ぼくのおおじいじ / スティバンス
だっこだっこ / つちだよしはる
どこかいきのバス / 井上よう子

子どもの気持ちについて考えさせられました



(国分在住) 上福元美和子さん おすすめの本



主人公の「僕」が、小学生になって初めての七夕の願い事は「おこだでませんように」。この場面になると涙が出てくと同時に、育児真っ最中の私は、はっとさせられました。私とは、私上の子には、という怒りばかり。育児について、改めていろいろと考えさせられた一冊です。

イベント名	日時[対象]	場所
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	10月5日(土) 10:30~11:30	国分図書館
赤ちゃんとわらべうた・えほんのへや(りんごの木)	10月7日(月) 10:30~11:00	
ほととの森おはなし会	9月14日(土)、28日(土) 14:00~14:30	
おはなしの部屋	9月15日(日) 11:00~11:30 [幼児・小学生]	隼人図書館
	10月3日(木) 16:00~16:30 [幼児]	
	10月4日(金) 11:00~11:30 [赤ちゃん]	
語りの部屋(語りの会あもり)	10月13日(日) 11:00~11:40	横川図書室
おはなし会(おはなしの会「さんぽ道」)	9月21日(土) 14:00~15:00	
おはなし広場	9月28日(土) 10:00~11:30	

霧島市立図書館においでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。
国分図書館 ☎64-0918
隼人図書館 ☎43-7574
溝辺図書室 ☎58-3191
横川図書室 ☎72-1596
牧園図書室 ☎78-3349
霧島図書室 ☎57-0316
福山図書室 ☎56-2026



有村克枝さん(溝辺)

Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



なくなり、少し寂しいです。

クーパーはいつもバッグに入れて持ち歩いており、ありがたく使っています。少しのことですが主婦にとってはこういうクーパーはとてもありがたいです。イベント情報もいつも参考にしており、たまに知人が載っていたりするとなおさら楽しくなります。広報誌、楽しみにしていますよ。(ピース45歳女性)

賢い主婦はいつもバッグにクーパー券。霧島のお得を発信しています。

いつも「図書館へ行こう」の新しい本の紹介を楽しみにしています。夏休みは図書館に行つてたくさん本を借りました。

図書館は涼しくて、たくさんおもしろい本があるのでこれからも借りたいと思います。自由研究も図書館の本が役に立ってよかったです。(アトムくん10歳男性)

昨年度の図書館の本貸し出し冊数は42万4741冊、利

用者数は12万699人でした。

夫が血液検査で悪玉菌の数値が高いと言われ、一緒に栄養指導を受けました。日ごろの食生活の大事さを勉強させられました。

脂分を控え、肉から魚へ、野菜をたくさん取れるような食事の改善に努めています。おかげで魚や野菜料理のレパートリーも増えました。目標は夫の体重を3kg減らすことです。(りりらら42歳女性)

食事に気を付けて夫婦ともに健康で長生きしたいものです。

50年前、「はんぎり出し」を楽しみにしていました。いそいそと知っている人を探して「エッナ(ボラの幼魚)」を買って帰り、酢みそを付けてほうばっていました。今はスーパーに行くともありませんが、風情のある「はんぎり出し」で取った魚を味わいたいものです。(小村の懐かしい人70歳女性)

でも毎年、すてきな演奏をありがとうございました。

団員の方は社会人であり、練習の時間もままならないことがあったと思います。それでも毎年、すてきな演奏をありがとうございました。

最後に必ず「カノン」を演奏されるのですが、これを聴かないと私の夏は終わりません。終了後、外に出たら自然の音楽。ミンミンとセミの大合唱

「はんぎり出し」は、霧島市にとって大切な夏の行事。続けることが伝統と環境を守ることにつながります。

秋 見つけました。自宅での出来事です。暑さのせいで野菜の实の付きが悪く残念なのですが、ちよつと上の方を見ると珍しいムカゴが数個、実を付けていました。その上には柿の実がたくさん。まだ、青い実ですが、色が少しいつてきています。こんなところに秋が来ていました。おまけに朝顔まで青い花を見

「はんぎり出し」は、霧島市にとって大切な夏の行事。続けることが伝統と環境を守ることにつながります。

大隅国が建国されて1300年。幼いころから大隅国分寺跡の近所に住んでいます。昔からの公民館も壊されて殺風景になっており

ます。県外からの観光バスが時々停まっておりますが、国分寺がかわいそうです。夜になると電灯は一つもなく真っ暗闇でとても物騒で怖い。周りに小学校や高校もあり、せめて歴史ある大隅国分寺跡に電灯や外灯などを付けてライトアップされては

どうでしょうか。1300年といわれるくらいならもっと整備してほしいです。(チャッピー45歳女性)

地元愛が伝わってきます。今年度、「国史跡・大隅国分寺跡」の古い柵を撤去するなど整備を実施する予定です。

8月17日、待ちに待った市民参加型ミュージカル「大隅浪漫」を観劇しました。舞台は九場もあり、初めから終わりまで元氣あふれる歌、ダンスありの大ミュージカルでした。市民参加型と銘打つだけあって多くの子どもたちや大

人たちの素晴らしい歌声。舞台狭しと動き回るエネルギーは何にも増して私たちを感動させました。数か月の練習でこれだけの舞台を作り上げたのは演技者の努力だけでなく、裏方であるスタッフのなせる技ですね。また、多くのサポート団体の協力も見逃せません。このミュージカル全体を通じて流れているのは間違いなくわが郷土、霧島を愛する思いだと確信しました。このミュージカルで感じたことが二つ。出演した子どもたちの経験と自信は何物にも代えがたいということ。また観劇した市民、とりわけ若い子どもたちにも同じエネルギー

ギーを倍加して与えたということ。この霧島で生まれ、育つことの誇りを心から感じたいと思います。(国分広瀬のダツタン70歳男性)

市内各地から集まった小学生から大人、そして民間企業、行政が一体となったミュージカルでした。

懐かしい気持ちとあまりの美しさに感動し、涙がこぼれそうでした。(ぶるーと40歳女性)

徳島の方々も市民の皆さんの好意的な反応がとてもうれしかったようです。

このほかに15通のはがきをいただきました。文章は添削する場合がありますので、予めご了承ください。

【お詫びと訂正】

8月号の綴じこみはがきのイベント案内「単人浜下り」の日程に誤りがありました。

(誤) 10月19日(土)
(正) 10月20日(日)

若者掲示板

サークルや地域おこしグループなど活動紹介や会員募集を掲載しています。



霧島九面太鼓保存会 郷花
☎マネジャー 藤元まゆみ
☎090(3321)0823
✉メール info@kumen.jp

私たちは霧島九面太鼓保存会の中高生で構成するジュニアグループです。メンバーは地元の高校生7人、中学生3人の10人。地元を愛し、故郷「霧島」の花となれるように頑張っています。「霧島高原太鼓まつり」がきっかけで結成され九面太鼓と共に活動し、和太鼓だけでなく礼儀作法も学びながら、みやまコンセル近くの稽古場にて月、木、土の週3日、地元の祭りや日本太鼓ジュニアコンクール(全国大会)などに向けて練習しています。

一緒に和太鼓を打ちながら大好きな霧島で活動してみませんか。霧島九面太鼓保存会もメンバー募集中、大人の方もお気軽にお問い合わせください。



霧島中学校吹奏楽部
☎霧島中学校 ☎57-0836

現在、1年生7人・2年生4人・3年生5人で、日々練習に励んでいます。今年3月に9人が卒業。5か月間は7人での活動でした。一時はコンクール出場も危ぶまれましたが、新入部員が加入、卒業した先輩たちも教えに来てくれました。本当に感謝です。

おかげで、県吹奏楽コンクールで金賞受賞。南九州コンテストで2年連続の優秀賞を受賞しました。

今、秋の定期演奏会に向けて皆さまに楽しんでいただけるように練習中です。

- 期日=11月2日(土)
- 開場=午後1時30分
- 開演=午後2時00分
- 会場=みやまコンセル

私は現在、福山町にある「牧之原むつみ園」で介護福祉士として働いています。そのため、施設の利用者の方から昔の思い出話を聞く機会が多くあります。しかし、思い出話に出てくる場所は次第に少なくなくなり、まち並みなども昔と比べ大きく変わってきたようです。

施設には認知症の方も入所されており、今の福山町は人が多くて店もいっぱいできて活気があるね」と話をされたことがあります。それが今の福山町なんだと言われたら「そっなんですね」と否定はせず内容をお聞きするようにしています。

でも時々、まちが栄えていた時代を思い出され、その当時の商店街や自然溢れる素晴らしい風景があったこと

三州平(ドライブイン)の上にある福山の花文字



思い出を受け継いで

◎濱田 さやか

をいろいろ教えてくださる方もいますが、今は人口も減少し、店も減っていることを伝えると少し悲しそうな顔をされ、同時に私も寂しくなってしまうんです。

今は亡き私の祖父も、認知症でした。地元の活性化のために経営していた三州平(ドライブイン)で祖母と一緒に一生懸命働いていたことを覚えています。仕事だけではなく、いろいろな人たちが協力して、地域おこしにも頑張っていました。

そんな祖父の思いがこもった

店も今はなく、たまに、店のあった場所を車で通ると、祖父は必ず車窓からそこを眺めていました。祖父にとって自慢だった場所は、草が生い茂り、その風景を見ると寂しうにしていたのを今でも思い出します。

昔の福山のまち並みや風景のことを、仕事のために利用者の方からよく聞きます。利用者の方が故郷の話をするときは表情も明るく会話も弾みます。故郷の話は私と利用者の方が共通して話せる話題でもあります。認知症がある方も、昔のことを覚えている方が多く、いろいろな話を聞くのが楽しみです。

私は、利用者の方の笑顔や会話をしている瞬間が大好きです。だからこそ昔の思い出の場所を少しでも残したいと思うのです。

霧島市には福山の花文字や城山公園、温泉街など、素晴らしい風景や観光地がたくさんあります。昔のまち並みや活気が少しでも戻り、「昔こ

Profile



はまだ さやか (25)
加治木女子高等学校(現龍桜高校) 医療福祉科卒業。現在、牧之原むつみ園で介護福祉士として働く。趣味で習字を学んでおり目標の資格取得(教授免許)を目指し勉強中。福山町在住。

ここに来たなあ」と思い出すことが出来る場所や先輩方が作り上げてきた景色、場所を少しでも多く残してほしいと思います。

私が知らなかったことなど、数え切れないほどたくさんの方を覚えてくださったことを教えてくださった人生の先輩方に心から感謝しています。故郷への思いを大切に受け継ぎ、その魅力を残していけるように私も行動していきたいと思っています。

これからも、霧島市がもっと活気や笑顔の溢れるまちになりますように。

◎お便りをくださった方の中から霧島スパヒルズのペア宿泊券を1組の方にプレゼント。応募締め切りは9月20日(金) 当日消印有効です。※当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

PRESENTS

源泉と眺望の宿 霧島スパヒルズのペア宿泊券をプレゼントします

全室から錦江湾に浮かぶ桜島の大パノラマを満喫。源泉を利用した「源泉蒸しバイキング会席膳」が大人気。お昼のランチとしてもご利用いただけます。2種類の泉質が自慢の大浴場と露天風呂。貸切展望風呂はバリアフリーとなっています。庭園グラウンドゴルフ場(公認16H)有。

問=霧島スパヒルズ ☎(78)2311 霧島市牧園町高千穂3812-6



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報聴取グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口 / 127,990人(+85)

男性 / 61,565人(+67)
女性 / 66,425人(+18)
出生123人 / 死亡110人
転入446人 / 転出368人

◎世帯数 / 59,239世帯(+67)

(平成25年8月1日現在)

入園無料の園内には1周1,500メートルのゴーカートやアスレチック遊具のある多目的グラウンド、食事のできる「まるおか桜苑」などがあります。スロープカーは中学生以上100円で乗車可能。鹿児島市から訪れた古江偉大君(7)と弟の裕大君(4)は「ゴーカート、滑り台、ブランコが面白かった」と汗をいっぱいかきながら話してくれました。

■駐車場、トイレ、売店あり。第2・4日曜日9:00～15:00はフリーマーケット。レストランは午前11時～午後8時、施設は午前9時～午後5時。

☎=丸岡公園 ☎(72)1362



今回は横川の丸岡公園を紹介します。

今月の表紙



黒酢の仕込み(福山)
昨年9月撮影
協力:坂元醸造(株)

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ17～55mm
F2.8 1/400 F8.0 ISO200

市民の生命と財産を守り安心・安全なふるさとをつくることは行政に課せられた最も重要な使命です。防災対策にはいつか空白的も許されません。今後も関係機関と連携し万全の防災対策を講じてまいります。

市民の生命と財産を守り安心・安全なふるさとをつくることは行政に課せられた最も重要な使命です。防災対策にはいつか空白的も許されません。今後も関係機関と連携し万全の防災対策を講じてまいります。

取材で家族会に出席。そこに妻を介護する一人の男性の姿が、二人とも90代。周りの力を借りて、必死に認知症と向き合っていました。「もしも自分が、家族が…」。恥ずかしながら、まだサポーター養成講座を受けていません。今度、必ず受けて、オレンジリングを付けます(み)

もう若くないし…。年とったなあ。無理でしょ。口をついて出てくる諦めの言葉。74歳にして挑戦を続ける下新原さん取材して反省しました。笑顔で好きな事に取り組む姿は若々しくて輝いていました。「遅すぎることはない」。この言葉は気持ちを前向きにさせてくれます(う)

FMきりしまが開局して2か月が過ぎた。霧島市も朝8時と夕方5時30分から10分間の市政番組を持っている。10分のうち4分はパーソナリティと職員とのインタビュー形式での放送。私も出演した。すると「声はいいねえ」と言われた。声は…。周波数は76.9Mhz(た)

娘に英語を習わせようとして家族で体験レッスンを受けた。先生の発音に合わせてリピートする。娘は発音を褒められ大喜び。「Lの発音をしましょう。はい、お父さんどうぞ。」「…エル」と答える。「お父さん「E」になってますよ」。バレた! 赤面。変な癖がつく前に習わせよう(は)

市長コラム 前田終止

安心安全な故郷のために
今年(未曽有の豪雨災害といわれた平成25年)から20年目となり、7月29日に「8・11災害を忘るな!平成5年(1993年)から20年」を開催し、多くの市民の皆さまと当時の貴重な体験談や映像などを通じ、さらなる防災意識の向上を図りました。また、来年1月は桜島が大隅半島と陸続きになった大正噴火から100年目を迎えることから8月25日に「市民火山フォーラム」を開催し、火山に対する防災や共生の在り方について学びを深めたところです。

初代霧島市長として、平成18年7月の豪雨災害、新型インフルエンザ、家畜伝染病口蹄疫、新燃岳噴火など予想だにしない突発的な自然の驚異と向き合い、多くの市民の皆さまと関係機関・団体の皆さまと力を合わせ、尽くし合い、対策を講じてまいりました。